

情報学概論A

情報と社会 ～コンピュータとインターネット～
10. インターネット社会でのマナー -2-

1

1. マナーの元祖？

- 事故の話しに入る前に・・・江戸商人の処世術
- 江戸しぐさ(えどしぐさ)と言われる物
日本における江戸期の商人の生活哲学・商人道
 1. 忙しい、忙しいと言うな
 2. そんなに偉い方とは知らずにと言うな
 3. 知ったかぶりをするな、見てわかる事を聞くな
 4. 人の話を真剣に聞くときにメモをとるな
 5. 自分と違う意見をないがしろにするな
 6. はい、はいと二度返事をするな
 7. 感情を逆なでする言葉を使うな
 8. 人の意見を無視する言葉を使うな
 9. 人に行き先をむやみに聞くな
 10. 相手を卑下するな、威張るな

3

目 次

- 1. マナーの元祖？
- 2. インターネットで起こりうる事故
- 3. 事故にあわない為の注意点
- 4. インターネット事件簿
- 5. まとめ

2

1. マナーの元祖？

- 江戸しぐさ 続き
 11. 初対面の人に年齢、職業、地位を聞くな
 12. 人と会っているときに足組み、腕組みをするな
 13. 紹介者を飛び越えて親密になるな
 14. 打てば響く心意気を持って
 15. 何をしてもうわの空の人とは付き合な
 16. 口先でなく目で人を判断しろ
 17. 三つ心、六つ躰(しつけ)、九つ言葉、十二文、十五理で末決まる
 18. 突然の訪問、遅刻で人の時泥棒をするな
 19. うかつあやまり 足を踏まれたら、うっかりしていましたと謝れ
 20. 常に人を思いやれ 傘かしげ、肩引き、こぶし腰浮かせ
 - 傘かしげ
雨のしずくがかからないように、傘をかしげあって気配りして往来するしぐさ
 - 肩引き
狭い道ですれ違うとき、肩を引き合って胸と胸を合わせる格好で通り過ぎるしぐさ
 - こぶし腰浮かせ
乗合い船で腰の両側にこぶしをつけて軽く腰を浮かせ、
少しずつ幅を詰めながら1人分の空間を作るしぐさ

4

2. インターネットで起こりうる事故

- インターネットでの事故・事件
 現在インターネット上でありとあらゆる事故・事件が発生している
 ネットに反して作成されたメールやブログが原因で発生した事故や
 ID・パスワードの盗用、架空請求、フィッシング詐欺などの事件

 情報漏洩、不正アクセス、コンピュータウイルス、スパイウェアなど

便利なインターネットの周りには危険も常に隣り合わせなのです

 今回はそういった数々の**トラブルを知り、自分が加害者・被害者にならない為には何に注意すれば良いのか**を警視庁や岡山県警の資料を元に考えていきます

 なお、コンピュータウイルスについては、後日の回で説明を行いますので
 本講座ではそれ以外について見ていきます

5

2. インターネットで起こりうる事故

- インターネットでの事故・事件
 不正アクセス行為の認知状況

	2003 H15年	2004 H16年	2005 H17年	2006 H18年	2007 H19年	2008 H20年
認知件数	212	356	592	946	1818	2289
海外からのアクセス	35	37	53	37	79	214
国内からのアクセス	158	303	487	855	1684	1993
アクセス元不明	19	16	52	54	55	82

警視庁 H21. 2. 26掲載
7

2. インターネットで起こりうる事故

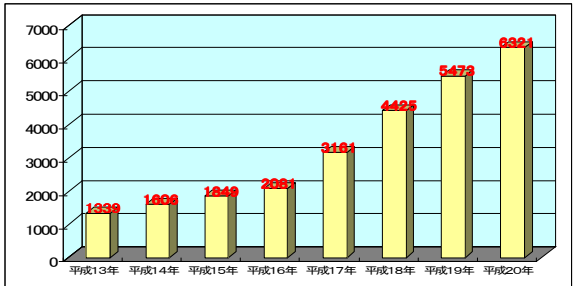
- インターネットでの事故・事件
 どのくらいの件数の事故・事件が発生しているのか？
 本当の所、正確な数は把握されていない状況ですが、報告があった物
 警察に検挙された物の数は公表されております

 インターネットでの事故・事件は**サイバー犯罪**とか**ハイテク犯罪**とも
 呼ばれることがあり、警視庁では下記のように分類しています
 - **ネットワーク利用犯罪**
 インターネットを利用したわいせつ画像の販売・頒布や違法物品の販売
 電子メールや掲示板を利用した脅迫行為、ネズミ講
 - **コンピュータ、電磁的記録を対象とした犯罪**
 コンピュータシステムの不正な使用や機能停止
 - **不正アクセス禁止法違反**
 他人のID・パスワードの盗用、コンピュータへの不正なアクセス行為

6

2. インターネットで起こりうる事故

- インターネットでの事故・事件
 サイバー犯罪の検挙件数

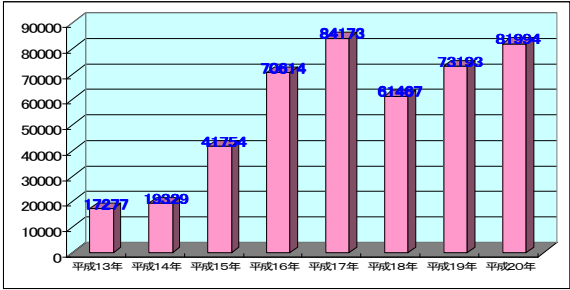


年	検挙件数
平成13年	1339
平成14年	1668
平成15年	1849
平成16年	2681
平成17年	3181
平成18年	4425
平成19年	5479
平成20年	6321

警視庁 H21. 2. 26掲載
8

2. インターネットで起こりうる事故

- インターネットでの事故・事件
 - サイバー犯罪の相談件数



年	相談件数
平成13年	12,277
平成14年	19,929
平成15年	41,754
平成16年	70,614
平成17年	84,179
平成18年	61,407
平成19年	73,193
平成20年	81,994

警視庁 H21. 2. 26掲載

4. インターネット事件簿

- 捨てたパソコンから機密情報が出てきた三重県四日市市

2003年5月 全国紙の朝刊で発覚
水道局職員(51歳 課長補佐級)が**個人で購入していたパソコンを職場で使っていた**
パソコンが古くなったため、妻に「ゴミに出してくれ」と依頼した妻はゴミの日に3回地面にパソコンを叩き付けて「これで、大丈夫だろう」と思いこみゴミとして収集場に置いた

通りがかりの男性がこのパソコンを拾い自宅に持ち帰ったパソコンは問題なく起動し、中から水道局での機密データが出てきた1998年から2002年度までの間に作った市道用地の地権者の名前や、用地買収で補償した金額、さらには市の公共工事の予算金額なども含まれていた

廃棄するパソコンはちゃんとハードディスクを破壊するか、専用の消去ソフトを使ってクリアするか、専門の業者に依頼する

3. 事故にあわない為の注意点

- インターネットを利用する上での注意点
 - 知らない相手に住所、電話番号、メールアドレスなどの**情報を教えない**
 - インターネット上でのオークションやアンケートは信頼出来る相手かを十分確認して行う
 - ID・パスワードは厳重に管理する
不用意に他人に教えない、分かり安く**連想できるパスワードにしない**
定期的にパスワードは変更する
 - 未使用時には**パソコンの電源を切る**ようにする
 - 現実社会での事としてよく考えてから行動する
 - ネットを守る

4. インターネット事件簿

- **セキュリティ用語を使った架空請求**
架空請求にありがちなメールが届く

メールサンプル

この度、弊社のほうで情報システム安全対策をしたところ、貴殿のネットワークシステムがスプーフィング行為を行われている恐れがあります。至急、弊社まで御連絡お願い申し上げます。

(株)日本電子情報センター
管理課 03-xxxx-xxxxxx 広報課 03-xxxx-xxxxxx
営業時間 平日10:00~20:00土12:00~18:00 定休日 日祝日

※**スプーフィング**:他人のIPアドレスを偽って不法侵入すること

電話をすると、自社特許を使用して対処するから20万支払えと言われた支払わないと、あなたは大変な迷惑を書けている責任を取れと言われる

4. インターネット事件簿

- 架空請求メールによく使われる言い回し(警視庁 広報 例)
 - 以前お客様が利用された番組が正式な登録手続きを踏まず、放置されたままとなっています。
 - お客様の退会手続きが未完了で放置されており、今後料金を請求されるおそれがあります。
 - 非常に大切な御連絡ですのでご確認お願いいたします。下のURLをクリックして手続きしてください。
 - ※重要※ 通知(すぐにお読みください)非常に大切な御連絡ですのでご確認お願いいたします。ご退会のご説明です。まだの方はお早めをお願いします。
 - 貴方様は当サイトにID:XXXXXで登録未了状態です。このまま放置されても利用料金は発生する場合がありますので、利用されない場合は退会手続きを行ってください。

13

4. インターネット事件簿

- もし、架空請求が来たら??
 - **送信元へは絶対に問い合わせ連絡しない**
問い合わせることにより、相手側にこちらの電話番号、メールアドレス、住所、氏名等の情報を与えてしまった結果、それを悪用して恐喝されたり繰り返し同様の請求を受けたりする場合があります
 - **請求の内容を冷静に確認し、証拠を保存する**
まずは請求の内容をよく確認し、実際に利用した覚えがあるかどうか、契約が有効かどうかを冷静に判断してください
相手の住所が本当に存在する住所なのか？(ネット検索を使う)
固定電話の番号が記載されているか？
 - **相談窓口**
岡山県警察本部サイバー犯罪対策室
問い合わせ先 (086)234-0110

15

4. インターネット事件簿

- 架空請求メールによく使われる言い回し(警視庁 広報 例)
 - 最終通告です。詳しくはこちらから・・・
 - ≪猶予期間中≫ 貴方様に仮登録状態のものがあります。正規会員とみなされて料金が発生する恐れがありますので、本日中に手続きしてください。
 - このままでしたら、実家・職場等にも督促をかけますから、それまでに処理してください。
 - お客様のアドが仮登録のまま現在当番組に放置されております。下記URLより退会手続きください。

14

4. インターネット事件簿

- **ワンクリック請求(自動会員登録)**
インターネットのサイトを見ていたら、面白そうなサイトがあった「**完全無料**」と書いてあったのでクリックすると、いきなり「**登録しますか？**」と表示されたので「**NO**」をクリックしたが、「**ご登録を完了しました。**」
「**3日以内に、入会金〇〇万円を振り込んでください。**」などと表示された
契約の成立に必要な「申し込みと承諾」という意思表示の合致が無い場合は、契約自体が成立しません
相手方から電子メール等が来ても、自分から連絡を取らない
また、電話が掛かってきた場合は、契約の意志はない事、契約は無効である事(または、直ちに請求には応じられない事)をはっきりと告げる
個人の住所、氏名、自宅の電話番号等の個人情報は言わない
また、相手があなたに関する情報をいくつか知っていても、**無視**してください
相談窓口
岡山県消費者生活センター
問い合わせ先 (086)226-0999

16

4. インターネット事件簿

- 迷惑メールの代表例(500通の迷惑メール比率)
 - 第1位:「お問い合わせありがとうございます」56通(11.2%)
 - 「ご質問ありがとうございます」というパターンもある。実際に何か問い合わせている最中だと、早とちりしてつい開いてしまう困りモノのタイトル。安易だが効果絶大か。
 - 第2位:「〇〇銀行:謝礼の提示がありました」37通(7.4%)
 - 謝礼がもらえるアテなんて全然ない。しかも銀行からなんてあり得ないのだが、もしかしたら、とつい期待してしまう困りモノのタイトル。残念ながらうまい話はひとつもなかった。
 - 第3位:「埼玉県婦人会よりお知らせ」26通(5.2%)
 - かなり理解に苦しむタイトル。埼玉県在住の主婦なら開いてしまうかも……と思いつつながら、埼玉県民じゃない筆者もなぜか開いてしまった。不思議な力のこもっているタイトル。
 - その他として「母より」というメールも16通(3.2%)あったらしい

[2007年11月18日] エキサイト「迷惑メール、どんなタイトルが多い?」

17

4. インターネット事件簿

- フィッシング詐欺について

フィッシング(Phishing)とは、オンライン銀行や有料サービスサイトなどからのメールを装って、受信者を**偽のホームページにアクセス**するように仕向け、そのホームページで個人の金融情報など(クレジットカード番号、ID、パスワード等)を入力させて、**個人情報不正に入手する行為**を言います

海外から複数の国をまたがっての犯罪もある
国によってはこういったサイバー犯罪を取り締まる法律がなかったり
取り締まりがまちまちである為、法的に規制の少ない国からインターネットを通して犯罪が行われるケースもある

特に国内では**平成19年度不正アクセス行為で検挙されたほとんどがフィッシングサイトによって情報を得たもの**であった
フィッシングにより得た情報でオークション詐欺を行う傾向が強い

19

4. インターネット事件簿

- 実際に受け取った吉田の迷惑メール代表例
 - 調査実施日 2008. 3. 1~2008. 3. 17
 - 受信メール数 474件

メール件名	件数
安心の物件です。	36
エッチだね(#^.^#)	28
昼間のスポーツジム	24
早く逢いたいな♪	18
お疲れ様です~^^	16
今、良いですか???	16
昨日何してたの??	15
参ったよ!!!!	12
\(^o^)/	9

 - 共通的な特徴
 1. リンク付のクリックをさせるような言い回しのメールである
 2. 件名が友人風
 3. いずれも送信者偽装メール
 4. わいせつな単語などは少なくフィルターにかかりにくい

18

4. インターネット事件簿

- フィッシング詐欺の具体例

ロシア・東欧圏のフィッシング詐欺グループが日本で犯行
クレジットカード大手、VISAインターナショナルの名前を騙った日本語のフィッシングメールを送信した
偽メールの文面は「VISAカードをお持ちのお客様は自動的にVISA認証サービスプログラムにご加入いただいております」VISA認証サービスでは、お客様の個人パスワードをお持ちのVISAカードのセキュリティを強化します」と書かれており、「オンラインストアでのお支払い手続きの際に、ATMで暗証番号を入力するのと同じようにパスワードを入力していただきます」と指示。「https://www.visa.co.jp/verified/」というURLをクリックさせて、**偽のWebサイトに誘導し、カード情報や暗証番号を入力させる**手口を採っている

20

4. インターネット事件簿

- ネットオークションでのトラブル

「インターネット・オークション等で商品落札後、代金を振り込んだが商品が届かない」などの個人売買トラブルが急増しています
インターネット上での取引では、本当に相手が信用できるか、十分確認する必要があり、注意することとしては以下のようなものが考えられます

 - 高額な物、現品を見る必要があるなど、店舗で購入するのが望ましい物については、取引を控えた方が安全です
 - 相手の自宅、氏名、加入電話番号等、**身元をしっかりと確認**してください
フリーメールアドレスや携帯電話番号しか教えてくれない相手は、十分信用できるとは言えません
 - 代金先払いの取引は要注意、**エスクローサービス**(仲介業者を介するサービス)などを利用した方が、より安全です
 - 少なくとも、取引が終了するまでは、相手から届いた電子メール、代金振込等を証明する書類、その他の**証拠となる書類や記録を保管**しておくことが重要です
 - 詐欺の被害にあった場合は、住所地を管轄する警察署に、相手からの受信メール(ヘッダー情報を含む)、銀行振込控え、被害にあったホームページ、その他判明している資料を持参し警察に相談する

21

4. インターネット事件簿

- 出会い系サイトのトラブル

インターネットや携帯電話の出会い系サイトを利用して他人と知り合い、その後、殺人、強姦、恐喝、脅迫、児童買春などに発展する事件が全国で多発しています
また、「使用料は無料」という言葉につられて使用すると、「実は高額の入会金が必要で、いきなり請求された」等のトラブルが多発しています

注意すること

 - 好奇心や興味本位で出会い系サイトにアクセスしない
 - メールから想像する人物像と実際の人物とは、全く違う場合がある
 - 不用意に住所・氏名・電話番号などの個人情報を教えない
 - 相手からの呼び出しには、安易に応じない

23

4. インターネット事件簿

- オークション詐欺の具体例
 - オークションで入札をしたが落札できなかった
後日、出展者から都合で入札が中止になったのであなたに譲って良いとのメールが来た
 - 指定通りに応札金額を振り込んだが物は届かなかった
 - オークション事業者の注意事項をよく読んでいなかったのが原因であったが、出展者を名を偽る偽者による詐欺であった

結局オークション側の保証制度も適用無く泣き寝入りとなった

オークション事業者の注意事項やお知らせ事項には出来るだけ目を通すようにする必要があります

22

4. インターネット事件簿

- 掲示板やブログでのトラブル

掲示板、チャット、ブログなどで、お互いの意見の違いから論争となったり、氏名・住所・電話番号等の個人情報を掲載されるトラブルがあります

相手は常に目の前にいると思い、ネチケットをよく思い出して節度ある発言をしてください
中には一人の人間が複数のアカウントで、トラブルが起こるような行動をとってくる場合もあります、不用意に他人を悪く言ったりするのは止めましょう

誹謗中傷を受けたり、個人情報を掲載された場合は、その掲示板のアドレスを確認し、その掲示板の管理者、もしくはサーバ管理者に削除依頼をしてください

24

4. インターネット事件簿

■ オンラインゲームでのトラブル(犯行手口)

- チャットやミニメール、ブログで裏技を使ってゲームマナーを増やすから携帯のアドレスを教えてください。
- チャットやミニメールで、もう引退するからアイテム差し上げますが、送料がないのでパスワードを教えてくださいら裏技でアイテムを送ります。
- ゲーム中のチャットや掲示板で、お互いのキャラクターを交換して遊びましょう。
- ブログで、アバターのプレゼント実施中、指定アドレスにパスワードを入力するとプレゼントが届きます。
または無料でプレゼントがもらえるサービスが利用できます
- スタッフを名乗る、または知り合いにスタッフがいると言い、裏技を使って遊べるようにするからパスワードを教えてください。または、一時的に貸してください。

25

4. インターネット事件簿

■ ブログへの書き込みによる事件

TV局のアシスタントディレクター(ADさん)を勤める女性が、通勤電車の中で頭髪が薄い男性を盗撮
自分のブログに無断で掲載、頭髪が薄いことを揶揄して面白半分に「**カッパも雑誌を読むんだね～**」と侮辱した

この小学生のような行為にネット利用者が激怒した
その女性のプライバシーが明かされ追い込みを掛けられた事によって謝罪らしきコメントを出すと言ふことに至った

インターネット暴発・炎上事件簿から

27

4. インターネット事件簿

■ 掲示板への書き込みによる事件

岡山県内のある小学校の掲示板に脅迫の書き込みが行われた児童に危害を加える物と言うものであった

学校は急遽、全校生の一斉下校と親の迎えを要請した
学校中が異様な雰囲気包まれた

その後、警察がプロバイダの協力のもと書き込みがどこから行われたかを特定した

掲示板への脅迫文の書き込みは小学校のすぐ近くにある中学校から行われており、パソコン教室のパソコンから書き込まれていた事が分かった・・・犯人はその小学校の卒業生である生徒だった

26

5. まとめ

- **インターネットには匿名性はないと心得る**
- **実生活と同じでマナーがある**
- **法整備が遅れている分、悪いことを考える人も多い**
- **被害者になっても加害者になっても、落ち着いて相談する**
- **問題を起こしてしまった場合、自分だけの問題として終わらない場合があると思うこと**
- **サイバー犯罪は民事事件・刑事事件両方に発展する可能性があると思うこと**
- **決して他人事と思ふなかれ**

28